

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 3 月 11 日作成)

小委員会名	各部構法計画小委員会		主 査 名：野城 智也 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：布野 修司 主 査 名：
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部構法の実態を把握し、問題点を整理するため、先進的、特徴的な構法を用いた建築物の見学会を実施する。 ・ 建築部品の多様化の中でのディテール設計を考える勉強会(講演会)を開催する。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：野城智也(東京大学生産技術研究所) 幹事：小見康夫(武蔵工業大学) 幹事：信太洋行(東京大学生産技術研究所) 大野隆司(東京工芸大学) 甲藤正郎(東京大学大学院生) 加藤雅久(居住技術研究所) 門脇耕三(首都大学東京) 菊地勝広(横須賀市自然・人文博物館) 志岐祐一(日東設計事務所) 角田誠(首都大学東京) 中島裕輔(工学院大学) 名取発(東洋大学) 南一誠(芝浦工業大学) 村上心(椋山女学園大学) (全 14 名)		
設置 WG (WG 名：目的)	建築病理学研究ワーキンググループ：既存建物に見られる様々な症状の分類方法、症状の原因、対処法を検討し、出版物を企画。		
2007 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s2/	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無
講習会	無
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 活動報告会 参加者数 11 名 「講演会資料：安田幸一氏・小栗新氏・手塚貴晴氏」
大会研究集会	無
対外的意見表明・パブリックコメント等	無
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「すり合わせ」にかかわる設計者への聞き取り調査 「すり合わせ」という観点から、革新的なディテールを創造している設計者に、その創造の過程にかかわる聞き取り調査を行い、今日の各部構法設計プロセスにおいて、どのような「すり合わせ」がなされているか把握できた。

委員会活動の問題点 ・課題	1.革新的なディテールだけでなく、現在の標準的なディテールを対象とした聞き取り調査も必要と考える。
------------------	---

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。